

平成28年度 事業報告

○公益社団法人下松市シルバー人材センター

1 概況

我が国の経済情勢は、デフレ脱却と経済再生を最重要課題とした経済政策が推進されたことにより、緩やかな回復を続けていると言われてはいますが、世界経済をみると不安定な要因を数多く含んでいます。

他方、少子高齢化に歯止めをかけ、誰もが自己の能力を発揮できる「一億総活躍社会」の実現に向けた動きが活発になってきていますが、高齢者が培ってきた知識や能力を活かして地域社会の一員として働き、ボランティアを始めさまざまな社会活動に参加・貢献する組織として、シルバー人材センター（以下「シルバー」という。）の役割が、さらに増してきています。

しかし、シルバーを取り巻く環境は、民間事業所での適正就業の推進、雇用の延長等によって、新規会員が伸び悩むなどの状況が生まれてきています。

このような状況の中、当センターにおいても、会員・役員・職員が一丸となり、地域社会の信頼と期待に応えながら、シルバー事業の推進を図るべく、就業基盤の拡大・就業機会の確保に努めてまいりました。

以下、平成28年度事業実施概要について報告します。

(1) 会員の動向

会員の状況は、年度末会員数532人（男性338人、女性194人）となり、前年度の541人（男性会員344人、女性会員197人）と比べ9人の減となりました。

(2) 事業実績

受託事業の事業実績は、受注件数2,639件で、前年度の2,625件に対して、14件の増、契約金額は約2億3,526万円で、前年度の約2億3,960万円から約434万円の減となりました。

また、一般労働者派遣事業については、受注件数47件で、前年度の39件に対して、8件の増、事業実績は18事業所へ50人の会員を派遣し、契約金額約3,272万円で、前年度の約3,077万円に比べ約195万円の増となりました。

受託事業及び一般労働者派遣事業の合計が約2億6,798万円で、前年度の約2億7,037万円から約239万円の減となりました。

なお、収支決算については、経常収益計が約2億8,195万円、経常費用計が約2億7,804万円で、約391万円の増となりました。

就業率については、90.4%となり、前年度の94.1%から3.7ポイントの減となりました。

(3) 組織体制の充実強化

「第二次中期基本計画」の目標を達成するために、計画に沿った課題11項目の取り組みを推進するため、各職群班の会議等を開催し、会員の自主性と主体性を促進するとともに、組織の活性化に取り組みました。

「地区懇談会」を継続して開催し、地域班活動の目的に沿った取り組みを進めました。

また、地域班長により、会報「星のさと」「事務局だより」「安全だより」等を配布し、会員の連帯意識の高揚を図りました。

未就業の会員を対象とした「共同作業」を実施し、未就業会員が一人でも多く就業するきっかけとなるように取り組みました。

独自事業として、引き続き、正月飾り製作班の輪飾り・門松づくり、ハーブの会の軽食・スイーツづくり、布倶楽部の布製品づくり、木工品製作班、ふれあいシルバー農園班の各事業を継続実施しましたが、昨年並みの事業実績を残すことが出来ました。

(4) 就業開拓

就業開拓委員会の取り組み事業の一環として、シルバー事業のPRを行うとともに、就業情報を収集し、就業機会の開拓に努めました。また、就業機会推進員により、官公庁、民間企業及び一般家庭等を逐次訪問し、就業機会の創出に努めました。

「地区懇談会」の開催を契機として、会員からの情報提供による就業開拓の創出に努めました。

(5) 普及啓発活動

市の広報やマスメディアを活用し、シルバー事業の普及啓発及び就業機会の拡大を図りました。普及啓発促進月間中の10月15日(土)には、市内の一部地域を対象に、啓発用パンフレットの各戸配布を行うとともに、市内の中心地域を対象とした、道路清掃のボランティア奉仕作業を実施しました。

また、11月4日(金)に「第8回グラウンド・ゴルフ大会」、11月5日(土)には「第8回いきいきシルバーまつり」を開催し、一般市民とのふれあいの場を設ける事によって会員全体の意思疎通及び市民へのシルバー事業への普及啓発に努めました。

(6) 安全・適正就業の確保

安全就業については、安全委員会及び安全パトロールを逐次実施し、安全への周知徹底と意識の高揚を図りました。

また、安全・適正就業啓発の一環として、7月2日(土)には、“スターピアくだまつ”において、「安全・適正就業推進大会」を開催、平成29年1月21日(土)には、“ほしらんどくだまつ”において、「会員研修会」を開催しました。

「事故ゼロ」を目標に掲げて、安全就業に積極的に取り組みましたが、物損事故が2件発生しました。会員・役職員が一体となり、今後も尚一層事故の防止に努める必要があります。

適正就業については、請負・委任に適合しないとみなされる受注に対し、事業所の個別訪問を実施し、一般労働者派遣事業への移行をお願いするなど、基準に沿った運営の推進に努めました。

(7) 福利厚生

会員相互の親睦交流を図るため、「日帰り親睦旅行」を10月1日（土）に実施、平成29年1月21日（土）には研修会と併せて会員親睦会を開催して、会員相互の交流を深めました。

また、会員の同好会活動に対し、活動場所の提供など側面的な援助を行いました。

下松市勤労者総合福祉センター

1 概況

(1) 施設の利用促進

センターの有効かつ公平な利用を図るため、市をはじめ各関係団体及び一般市民の協力を得ながら利用者の増加に努めました。

(2) 施設の維持管理

築後28年以上経過して、施設・設備の老朽化が進んでいますが、良好な維持管理を継続していくため、日常点検及び各専門業者による点検委託を実施するとともに、老朽箇所の修繕・補修を行いました。

(3) 施設の利用状況

①体力づくり

体力増進、健康保持のため、スポーツ教室の開催及び卓球、バドミントンなどスポーツの場としての利用を図りました。

②教養文化

書道、オカリナ、大正琴等各種講座を開催しました。

(4) 就業支援

ハローワークの求職情報を掲示するとともに、技能講習会場としての活用に努めました。